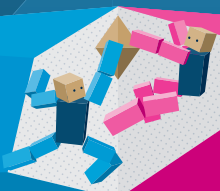




パリ 2024 五輪・銀メダリスト
安楽宙斗 選手

境界を超えて
挑戦する。

IFSC
NATIONS
GRAND FINALE



IFSC
PARA CLIMBING
MASTER

IFSC クライミング グランドファイナルズ福岡2025 2025 10.23-26

福岡県飯塚市・筑豊緑地公園／いづかスポーツ・リゾート ザ・リトリート

当日プログラム 10.24 DAY2

激戦必至のリード決勝

「IFSCクライミンググランドファイナルズ福岡2025」の初日に行われたボルダー、リードの予選は、チームで課題攻略のために協力し合う国別対抗戦ならではの光景が見られ、会場は熱狂の渦に包まれました。大会2日目はボルダー敗者復活戦とリード決勝が行われます。敗者復活戦は予選で敗れた韓国、カナダ、米国、オーストラリアの4カ国が戦います。リード決勝は日韓対決に注目。予選で4人が完登した韓国と3人が完登した日本。競技順やルートの選択も勝負のゆくえを左右します。リードの初代王者に輝くのは果たして――。



Photo : © CB/Sutterz

ルール紹介

ボルダー

用意される課題は、各ラウンドとも男子課題が2つ、女子課題が2つ、男女混合課題が1つの計5つ。各課題には2人が挑み、混合課題は男女1人ずつが登ります。2人が完登すると最高50ポイント×5課題で各国の最大獲得ポイントは250。相談や情報共有が可能な「協力型ルール」で進行する予定です。5課題目の混合課題ではコーチが戦略的に出場選手を選びます。制限時間は各課題5分間で、課題の見極めや順番の駆け引きが勝敗を大きく左右する、新しいボルダーフォーマットです。予選上位2チームとエリミネーションヒート（敗者復活戦）上位2チームの計4チームが決勝を戦います。

基本ルール

- ・高さ4～5mほどの壁を登る。
- ・各課題にはゾーンと呼ばれるホールドが1つあり、ゾーン到達で10ポイントが、最後のトップホールドを両手でコントロールできれば「完登」で25ポイントが与えられる。
- ・各課題の制限時間は5分間。制限時間内であれば何度でもアテンプト（試技）できるが、ポイントを獲得した課題に限り、獲得までに失敗したアテンプト数×0.1ポイントが減点される。

リード

用意される課題は、各ラウンドとも2つ。各国はルートAに2名、ルートBに2名が登ります（必ず男女ペア）。各課題の制限時間は6分。従来のように選手を隔離する形式を見直し、前の選手の登りを参考にしながら攻略できる新ルールを導入予定。また、男女で共通のルートにトライするため、コーチは選手の特徴に適したルートを判断する必要があります。戦略とチームワークが鍵を握る、手に汗握る展開が期待されます。予選を勝ち抜いた上位4チームが決勝に進出します。

基本ルール

- ・高さ12m以上の壁を登る。
- ・ホールドをつかむごとに1ポイントが加算される。
- ・最後の支点にロープをクリップすると「完登」。課題ごとに獲得ポイントは異なる。
- ・制限時間は6分間。アテンプトは1回限りで落下すると競技終了となる。
- ・落下時に、身体の重心または臀部が前進し、なおかつ片手あるいは両手を進行方向に沿った次のハンドホールドに向かって動かしたと判断されれば0.5ポイント加算される。

リード決勝に向けて

日本代表 安井博志ヘッドコーチ

普段はないチーム戦は面白いですね。男女で同じ課題に登るため若干やさしい設定で、選手にとって負荷はそれほどでもないと思いますが、ミスができないというプレッシャーで男子選手は特にメンタル的な難しさがあったと思います。予選の A ルートはどちらかというとダイナミック系で野中が、B ルートはクラシカル系で谷井が登りました。男子 2 人はどちらでも対応できます。競技順によるプレッシャーなどにも考慮して戦略を立てていきたいと思います。

アメリカ代表コーチ

今回のフォーマットは本当に面白い。新しい経験であり、選手たちが協力し合い、お互いのパフォーマンスを上げるために努力しているのを見るのは楽しいです。私たちの戦略は、選手たちが最も集中して、スキルを最大限発揮できると感じるルートを選手の直感に委ねて信じて送り出し、成功への道筋を整えること。決勝に進めて、たくさん登れることがうれしいです。リードとボルダーに同じ選手が出場するので敗者復活戦ではトライ回数に気を配る必要があります。

韓国代表コーチ

とても面白いフォーマットでした。このフォーマットでは自由で、ストレスがかからずに競技に挑めます。W杯ではオンサイトで緊張したり、長期間アイソレーションに隔離されたりして非常にストレスがかかりますから。リードの決勝は予選課題よりも難易度が上がることを期待しています。韓国はリードを得意としている選手を揃えています。日本も強いですが、どちらが優勝できるのか、観客目線から見ても興味深いと思いますし、コーチとしても楽しみです。

イスラエル代表コーチ

初のフォーマットは見ていて楽しかったですし、選手たちも登ることを楽しんでいました。協力し合って登ること、そして個々の選手としてだけでなく、チームとして一緒に競い合った部分が本当によかったと思います。予選は女子選手を最初に出場させることを選択しました。ボルダーの予選に挑む前にできる限り休ませたかったからです。選手のルート選択と競技順は選手たちとも話して決定したいと思います。表彰台を目指してベストを尽くします！

スケジュール

	AM	PM
10.24 FRI	開場 9:30 / 開始 10:00 ボルダー敗者復活戦	開場 17:30 / 開始 18:00 リード決勝

出場選手リスト

	ボルダー敗者復活戦／Boulder- Elimination Heat		リード決勝／Lead- Final	
	男子／ Men	女子／ Women	男子／ Men	女子／ Women
日本 JPN			安楽 宙斗 (43pt) Sorato Anraku 吉田 智音 (49pt) Satone Yoshida	野中 生萌 (43pt) Miho Nonaka 谷井 菜月 (36.5pt) Natsuki Tanii
アメリカ USA	ヴェイル・エベレット (9.6pt) Vail Everett デクラン・オズグッド (19.8pt) Declan Osgood	ゾーイ・イー (44pt) Zoe Yi パロマ・スロウィック (19.9pt) Paloma Slowik	ヴェイル・エベレット (41pt) Vail Everett デクラン・オズグッド (49pt) Declan Osgood	ゾーイ・イー (47.5pt) Zoe Yi パロマ・スロウィック (26.5pt) Paloma Slowik
韓国 KOR	イ・ドヒョン (74.9pt) Dohyun Lee チョン・イエジュン (35pt) Yejun Chon	オ・ガヨン (34.6pt) Gayeong Oh ユン・イエジン (44.8pt) Yejin Jung	イ・ドヒョン (43pt) Dohyun Lee ノ・ヒョンスン (49pt) Hyunseung Noh	ソ・チェヒョン (43pt) Chaehyun Seo キム・チェヨン (49pt) Chaeyeong Kim
オーストラリア AUS	ディラン・パークス (35pt) Dylan Parks マキシム・パレ (9.9pt) Maxim Pare	ロキシー・ペリー (0pt) Roxy Perry ジュディス・キャロル (34.4pt) Judith Carrol		
カナダ CAN	ユーゴ・ドルバル (34.8pt) Hugo Dorval マシュー・ロドリゲス (44.9pt) Matthew Rodriguez	バベット・ロウ (28.9pt) Babette Roy ライリー・ドハティ (9.7pt) Riley Doherty		
イスラエル ISR			トマー・ヤコボヴィッチ (47.5pt) Tomer Yakobovitch カルメル・ラズ・ロメオ (34.5pt) Carmel Raz Romeo	アルマ・サピール・ハレビ (26.5pt) Alma Sapir Halevi マヤ・ドリーマー (33.5pt) Maya Dreamer

会場マップ

